

高齢者施設など 定期的なPCR検査を

加藤 敏彦議員



疑問があるので実施する考えはない
健康子ども部長

提言

感染拡大の「第3波」到来を直視し、
「検査・保護・追跡」の
抜本的強化を

▲新型コロナ「第3波」到来への提言

問 新型コロナウィルス

感染者が急増している事態を受け、日本共産党は政府に緊急な対応を求める提言を発表した。

①「大規模・地域集中的検査」「社会的検査」を、政府の大方針にすえ、推進を

②感染追跡を専門に行うトレーサーを確保し、保健所の体制を抜本的に強化する

③「医療崩壊」を絶対に起こさないために、医療機

関の減収補てん、宿泊

養護施設の確保を「第3波」といわれる新型コロナ感染について、市としてどう受け止めているか。愛西市の感染状況は。

答 更なる感染予防の徹底に、相当危機感を持って取り組まなければならない

12月9日現在の感染状況は69名で、家族間の感染が27名、知人間の感染が10名である。それ以外は

単独か市外の感染である。

問 市内の医療機関でも

検査ができるようになった。どこかの医療機関か。

答 検査ができる医療機関は11カ所で、公表されているのは古瀬町の服部内科診療所のみで、八開診療所は要件を満たさない状況で実施できない。

問 新型コロナは4割が無症状感染者といわれる。集団感染の危険性のある

特に高齢者施設、児童施設、学校などの定期的、社会的検査を実施すべきだ。

市内の高齢者施設は何か所あるのか。入所者や職員は何人いるのか。

答 PCR検査の実施は、その時点での不安解消には役立つが、実施のタイミングなどの課題を考えると疑問があるので実施する考えはない。

市内には25の高齢者の入所施設があり、924人が入所、職員は670人となっている。

特定健診
無料化の実施を

問 特定健診の無料化を

実施していないのは海部地区の市では「愛西市」だけである。対象者と無料化の費用はいくらか。市長の決意はどうか。

答 対象者は約2500人、費用は約250万円。近隣市町村や医療機関等の状況を踏まえて検討中だ。